真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度

事務事業評価マネージメントシート

作成日　令和8年3月12日

事務事業名	民間児童館運営事業	担当課・係	健康福祉部　保育課　施設管理係
政策名　No	2　「笑顔づくり」～安心と元気アップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	1　子育て支援の充実		

成果指標 名称	単位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
真岡市で子育てしたいと思う親の割合	%	98.5					維持

事業内容

　真岡児童館は児童福祉法第40条に基づき、地域の児童に対して健全な遊びの場所と機会を提供し、その心身を育成し情操を豊かにすることを目的とした18歳未満の子どもを対象とする児童厚生施である。
　施設運営者である社会福祉法人に対し、目的達成のための運営費の助成を実施。（事業開始：平成15年度）
【運営費補助金】9,855千円(市単独)
【内訳】
・人件費　9,612千円
・事務費　113千円
・事業費　130千円

前年度の課題（Check）

7年度振り返り

【1】実績（Do） 7年度に実施した事業
【実績】
・延べ利用者数　7,916人
・相談事業…毎月実施
・子育て支援事業…育児セミナー年５回、親子触れ合い遊び…毎月実施
・地域住民による自主的な活動の支援…年２回
・地域行事との連携…年２回
・子どもボランティア育成支援事業…毎月
・年長児童等来館促進事業…夏休み期間中、９月に２回

【2】結果と課題（Check）
コロナ渦には利用者は減少したが、それ以降は年々増加している。
遊びを通じて異年齢児や地域とも交流が図れる事業であるが、利用者に地域の偏りが見られることから、広く周知をする必要がある。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと
多くの人が施設の活動を知ることができるよう、早急にホームページに児童館の情報を掲載し、広く周知を図る。

(2) 長期的な計画で検討すること
施設の活動状況を広く周知し、認知度が上がるよう、夏休み中の活動を広報誌などで紹介する。